

まなびの森

校長通信第12号 令和2年.2.1
廿日市市立吉和小中学校
校長 森岡 勝司
TEL(0829)77-2010

教育目標「夢や目標をもち、自己実現をめざす児童生徒の育成」

2月(如月)を迎えます！来週にはふるさと学習発表会が開催されます！

近年にない暖冬のため、スキー教室が開催できていない吉和学園です。写真は昨年末の雪化粧のグラウンドの様子です。地域の方々とお話をしますと、雪がないから熊が冬眠できず出て来るんじゃないかと心配だとか、雪解け水が不足すると田んぼや畑にも影響が出るし、吉和川の水量が減ったら、あまごやあゆの生育に問題が生じるんじゃないとか言われました。地球温暖化の影響は吉和の地でも実感できているといったところです。今年の夏は猛暑になるのでしょうか。



1/28付けの中国新聞にも、「広島に越冬イワツバメ」の見出しで興味をひく記事を見つけました。夏鳥として知られるイワツバメですが、冬場は東南アジアなどに渡るのが一般的だそうです。ところが、広島市北部の太田川周辺で100羽前後のイワツバメが群れをなして舞っているそうです。「暖冬で雪も降らないので、南下途中の群れが越冬地として選んだ可能性がある」と専門家のコメントが掲載されていました。

地球温暖化の問題は待ったなしと言える地球的課題です。そこで吉和学園は、国連が提唱していますSDGs（持続可能な開発目標/2030年までの10年間で達成すべき17のゴール）を視点とした、持続可能な社会（吉和）づくりの一翼を担いたいと考えています。

そこで今年度は、総合的な学習の時間で、昨年度に地域住民を対象に実施したアンケート調査により課題の一つにあげられた「吉和の森」に着目し、「吉和の森再生プロジェクト」と題して学習をすすめてきました。地元企業である安田林業の方々や吉岡利賀夫さんと連携させていただき、間伐体験や炭焼き体験を行い、循環型社会の一端を学びました。また、来年度は小学校において学習指導要領にもとづいて56年生で外国語科が、34年生では外国語活動が始まります。そこで、韓国の私立中高等学校であるドリームスクールと公立中学校であるブチョン ヨウォル中学校とスカイプ（インターネット通信）を活用しての英語の授業を開始しました。来年度はさらに韓日友好も視野に入れた教育活動にしていく予定です。

今の子どもたちが生きていく社会は、SOCIETY5.0とあって、インターネット等の仮想の「サイバー空間」と、私たちが暮らす現実の「フィジカル空間」を高度に融合させ、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会であるといわれています。そのためにも「主体的・対話的で深い学び」を創造しなくてはなりません。そこで先日は、国連訓練調査研究所（UNITARユニタール）広島事務所を訪問しました。来年度へ向け、平和を実現するための学び方や多様な考え方を学ぶ機会をつくるために、連携をしていこうと考えています。保護者の皆様にはご理解とご協力をお願いいたします。